

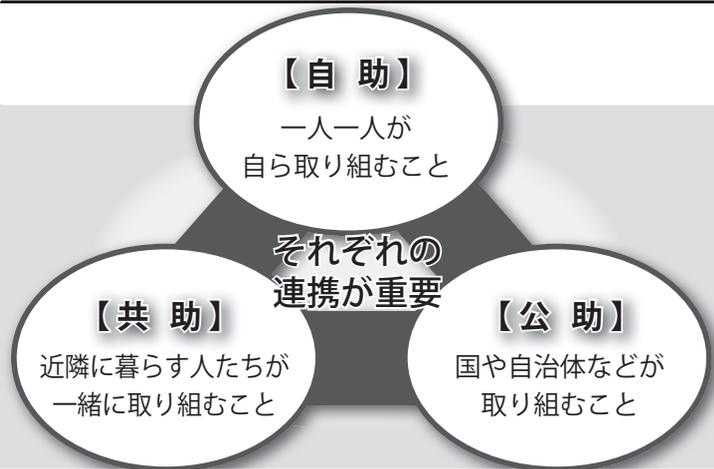
「自助」「共助」「公助」

それぞれの備えと連携で防災力を高めましょう！

自然災害を発生させないようにすることはできません。このため、災害を理解して被害を予測し、対策をとって被害を軽減する「減災」への取り組みがとても重要です。

「自助」「共助」「公助」とは

災害対策には、自分自身や家族で備える「自助（一人一人の役割）」、地域で助け合う「共助（地域の役割）」、行政が行う「公助（行政の役割）」の3つがあります。



【自助】

（一人一人の役割）

災害に備えて自分でできることを考え、対策しておくことを「自助」といい、災害対策の基本となります。まずは、自分や家族の命を守ることが大切です。自分を守ることで、まわりの方も助けることができます。

【共助】

（地域の役割）

災害時は、地域での助け合いが不可欠です。隣近所や地域全体で力を合わせ、高齢者などの避難行動要支援者の手助けをしたり、避難所の運営に協力するなど相互に助け合う「共助」が重要な役割を果たします。

【公助】

（行政の役割）

国や北海道、各市町村などでは、平素から災害発生に備え、防災に対する「啓発・準備・整備」を進めています。発災時には、状況を把握しながら、迅速な情報提供、的確な災害対応ができるように努めていきます。

「自助」「共助」「公助」の連携の輪を広げましょう

災害対策の基本は、一人一人が防災意識を高め、「自助」の力を高めることです。また、自分一人では対応できなくなったとき、頼りになるのが「共助」です。

そして、「公助」の手を円滑に被災者へ届けるためには、「共助」との連携が欠かせません。

災害は、いつ発生するか分かりません。いざというときに備えて地域が一体となり、みんなで「自助」「共助」「公助」の連携の輪を広げていきましょう。

問 市・総務課 ☎ 56-5005